

令和5年1月5日

健康福祉局高齢健康福祉部高齢健康福祉課

「横浜市敬老特別乗車証利用実績に係るデータ分析調査業務委託」契約結果

横浜市敬老特別乗車証利用実績に係るデータ分析調査業務委託について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

1 件名

横浜市敬老特別乗車証利用実績に係るデータ分析調査業務委託

2 委託内容

- 利用実績データを可視化したダッシュボードの作成
- 利用実績データの分析調査結果報告書の作成
- 施策や課題検討に資する手法・分析等の提案
- 本市との打合せ

3 契約の相手方

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

4 契約金額

19,963,900 円

5 契約日

令和4年12月27日

6 評価結果

| 提案者 | 評価点数 | 順位 |
|------------------|------|----|
| 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ | 775点 | 1 |

7 評価基準・評価委員会開催経過等

| | |
|-----------|---|
| 評価基準 | 別紙のとおり |
| 評価委員会開催日時 | 令和4年12月2日(金)10時00分から11時10分まで |
| 評価委員会開催場所 | 市庁舎21階N04会議室 |
| 評価委員出席状況 | 評価委員7名中、7名出席 |
| 議事内容 | <ul style="list-style-type: none">提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答評価結果の集計及び集計結果の確認受託候補者の決定 |
| 事務局 | 健康福祉局高齢健康福祉課 |

8 問い合わせ先

健康福祉局高齢健康福祉課生きがい係 671-2406

提案書評価基準

1 基本的な評価事項

表1 基本的評価事項

| 評価項目 () 配点 | 評価の着目点 | | 配点 | 評価 | 評価の 換算式 | 評価点 |
|----------------|---|---|----|----|------------|-----|
| 業務経歴 (10点) | 平成29年度以降の同種又は類似業務の実績の件数 | | 5 | | | |
| | 平成29年度以降の同種又は類似業務の実績の内容 | | 5 | | | |
| 実施体制 (10点) | 安定的・効率的に行える実施体制となっているか | | 5 | | | |
| | 配置予定者は、担当する業務に活かすことのできる知見・知識、業務実績、経験を有しているか | | 5 | | | |
| 提案内容 (65点) | 本業務に対する基本的認識 | 提案の概要について、本業務の目的に沿った提案であるか | 10 | | ×2 | |
| | 実施方針 | 実施方針が的確で、業務説明資料との整合性が取れているか | 10 | | ×2 | |
| | スケジュール | 業務スケジュールが明確になっており、期限内の履行が可能となっているか | 5 | | | |
| | 実施手法 | ダッシュボードの構成に係る提案内容は、閲覧者の視点に立った分かりやすさが重視された内容となっているか。ユニバーサルデザインに対応しているか | 15 | | ×3 | |
| | | ダッシュボードの構成に係る提案内容において、市職員が行うことになる更新・修正作業等の実施方法が分かりやすいものとなっているか | 5 | | | |
| | | 可視化したデータに基づく分析調査の実施手法及び調査結果報告書の構成イメージは、業務目的に沿った有効なものとなっているか | 10 | | ×2 | |
| | 事業効果検証に向けた提案 | 次年度以降の敬老パス制度の事業効果検証（高齢者の外出促進や社会参加支援効果・介護予防、健康増進効果など）に向けて、必要と考えられる以下の提案はあるか ・追加的に連携・分析すべきデータ ・分析調査の手法 ・その他、有効と考えられるアイデア | 5 | | | |
| | その他の提案 | 事業効果検証に向けた提案以外に、今後の事業推進に資する説明や提案等はあるか | 5 | | | |

| | | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|----|--|-----|--|
| その他 (40点) | 提案力・考察力 | 閲覧者の視点に立ち、よりわかりやすく使いやすいダッシュボード作成に向けた提案力・考察力を有しているか | 10 | | × 2 | |
| | 協調力・支援力 | 本市が求める機能要件・コンテンツについて、本市との進捗報告会議での協議なども踏まえながら、漏れなく正確に構築することが期待できるか | 10 | | × 2 | |
| | 業務内容の理解度 | 本市の敬老パス制度における課題や、本業務の必要性が理解できているか | 10 | | × 2 | |
| | 取組意欲 | 取組意欲が感じられるか | 10 | | × 2 | |
| ワークライフバランス・障害者雇用・健康経営に関する取組 (8点) | 次の項目について1つ満たすごとに1点加算 <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法による認定の取得（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 <input type="checkbox"/> 若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 <input type="checkbox"/> よこはまグッドバランス賞の認定の取得 | | 6 | | | |
| | 従業員43.5人以上であり、障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%を達成 又は従業員43.5人未満であり、障害者（1週間の所定雇用時間が20時間以上で、1年以上継続して雇用される者（見込みを含む））を1人以上雇用 | | 1 | | | |
| | 健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証 | | 1 | | | |
| 評点の合計（133点） | | | | | | |

2 評価方法

- (1) 各評価項目について、A・C・Eの3段階評価ないしA・B・C・D・Eの5段階評価とする。
- (2) 評価は各項目5点満点とし、A=5点、B=4点、C=3点、D=2点、E=1点とし、項目ごとの換算式による倍率を乗じ評価点を算出する。
 ※「ワークライフバランス・障害者雇用・健康経営に関する取組」の項目においては、表1の「評価の着眼点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する
- (3) E評価のあるものは原則として選定しない。

表2 評価の視点

| 評価項目 | 評価の着眼点 | 評価 | | | | |
|------|--|---|---------------------------------------|------------------------|---|--|
| | | A | B | C | D | E |
| 業務経歴 | 平成29年度以降の同種又は類似業務の実績の件数 | 実績がある(5件以上) | — | AEに該当しない | — | 実績がない |
| | 平成29年度以降の同種又は類似業務の実績の内容 | 国や地方自治体における実績がある | — | AEに該当しない | — | 実績がない |
| 実施体制 | 安定的・効率的に行える実施体制となっているか | 短期間で行える実施体制となっている | — | 実施体制が確保されている | — | 実施体制が確保されていない |
| | 配置予定者は、担当する業務に活かすことのできる知見・知識、業務実績、経験を有しているか | 配置予定者全員が、知見や実績等を有する | 配置予定者の8割以上が、知見や実績等を有する | 配置予定者の半数以上が、知見や実績等を有する | 配置予定者の3割以上が、知見や実績等を有する | 配置予定者のいずれも、知見や実績等を有さない |
| 提案内容 | (本業務に対する基本的認識) 提案の概要について、本業務の目的に沿った提案であるか | 本業務の目的を十分に理解した内容である | 本業務の目的を理解した内容である | どちらともいえない | 本業務の目的の理解をやや欠いた内容である | 本業務の目的を理解していない |
| | (実施方針) 実施方針が明確で、業務説明資料との整合性が取れているか | 非常に的確な視点を持った提案である | 的確な視点を持った提案である | どちらともいえない | やや的確性を欠く提案である | 業務説明資料との整合性を欠く提案である |
| | (スケジュール) 業務スケジュールが明確になっており、期限内の履行が可能となっているか | 工程計画が明確であり、円滑な進捗よくが期待できる | 工程計画が明確である | どちらともいえない | 工程計画にやや曖昧な点がある | 期限内の履行が期待できない |
| | (実施手法) ダッシュボードの構成に係る提案内容は、閲覧者の視点に立った分かりやすさが重視された内容となっているか。ユニバーサルデザインに対応しているか | 閲覧者の視点に立った分かりやすさ・使用しやすさが重視された内容となっており、ユニバーサルデザインに対応している | 閲覧者の視点に立った分かりやすさ・使用しやすさが重視された内容となっている | どちらともいえない | 閲覧者の視点に立った分かりやすさ・使用しやすさを重視する視点がやや不足している | 閲覧者の視点に立った分かりやすさ・使用しやすさが重視された内容になっていない |
| | (実施手法) ダッシュボードの構成に係る提案内容において、市職員が行うことになる更新・修正作業等の実施方法が分かりやすいものとなっているか | 非常に分かりやすく、簡易なものになっている | 分かりやすく、簡易なものになっている | どちらともいえない | やや分かりにくい | 分かりにくい |

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|--|--|--|
| | (実施手法) 可視化したデータに基づく分析調査の実施手法及び調査結果報告書の構成イメージは、業務目的に沿った有効なものとなっているか | データ分析の実施手法及び調査結果報告書の構成イメージは業務目的に沿っており、特に優れた提案である | データ分析の実施手法及び調査結果報告書の構成イメージは業務目的に沿った優れた提案である | データ分析の実施手法及び調査結果報告書の構成イメージは業務目的に沿った有効な提案である | データ分析の実施手法が業務目的に沿った有効な提案である | データ分析の実施手法が業務目的に沿った提案ではない |
| | (事業効果検証に向けた提案) 次年度以降の敬老パス制度の事業効果検証 ①高齢者の外出促進や社会参加支援効果・②介護予防、健康増進効果など) に向けて、必要と考えられる以下の提案はあるか ・追加的連携・分析すべきデータ ・分析調査の手法 ・その他、有効と考えられるアイデア | ①高齢者の外出促進や社会参加支援効果及び②介護予防、健康増進効果に向けて、必要と考えられる提案があり、いずれも優れた点がある | ①高齢者の外出促進や社会参加支援効果及び②介護予防、健康増進効果に向けて、必要と考えられる提案があり、一方は優れた点がある | ①高齢者の外出促進や社会参加支援効果及び②介護予防、健康増進効果に向けて、必要と考えられる提案がある | ①高齢者の外出促進や社会参加支援効果又は②介護予防、健康増進効果に向けて、必要と考えられる提案がある | ①高齢者の外出促進や社会参加支援効果及び②介護予防、健康増進効果に向けて、必要と考えられる提案がない |
| | (その他の提案) 事業効果検証に向けた提案以外に、今後の事業推進に資する説明や提案等はあるか | 今後の事業推進に資する優れた追加提案がある | — | 今後の事業推進に資する追加提案がある | — | 今後の事業推進に資する追加提案がない |
| その他 | (提案力・考察力) 閲覧者の視点に立ち、より分かりやすく使いやすいWebサイト構築に向けた提案力・考察力を有しているか | 提案力や考察力を十分に有している | 提案力や考察力を有している | どちらも足りない | 提案力や考察力がやや不足している | 提案力や考察力が不足している |
| | (協調力・支援力) 本市が求める機能要件・コンテンツについて、本市との歩報協議会での協議なども踏まえながら、漏れなく正確に構築することが期待できるか | 協調力や支援力を十分に有しており、本市が求める機能要件等の反映が期待できる | 協調力や支援力を有している | どちらも足りない | 協調力や支援力がやや不足している | 協調力や支援力が不足している |
| | (業務内容の理解度) 本市の敬老パス制度における課題や、本業務の必要性が理解できているか | 本市の敬老パス制度における課題及び本業務の必要性を十分に理解できている | 本市の敬老パス制度における課題及び本業務の必要性を理解できている | どちらも足りない | 本市の敬老パス制度における課題及び本業務の必要性の理解がやや不足している | 本市の敬老パス制度における課題及び本業務の必要性の理解が不足している |
| | (取組意欲) 取組意欲が感じられるか | 高い意欲が認められる | 意欲が認められる | どちらも足りない | 意欲がやや認められない | 意欲が認められない |
| ワークライフバランス・障害者雇用・健康経営に関する取組 | 表1の「評価の着眼点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する | | | — | | |